

木津川市にぎわい拠点施設基本構想 概要版

令和5年9月

1. はじめに

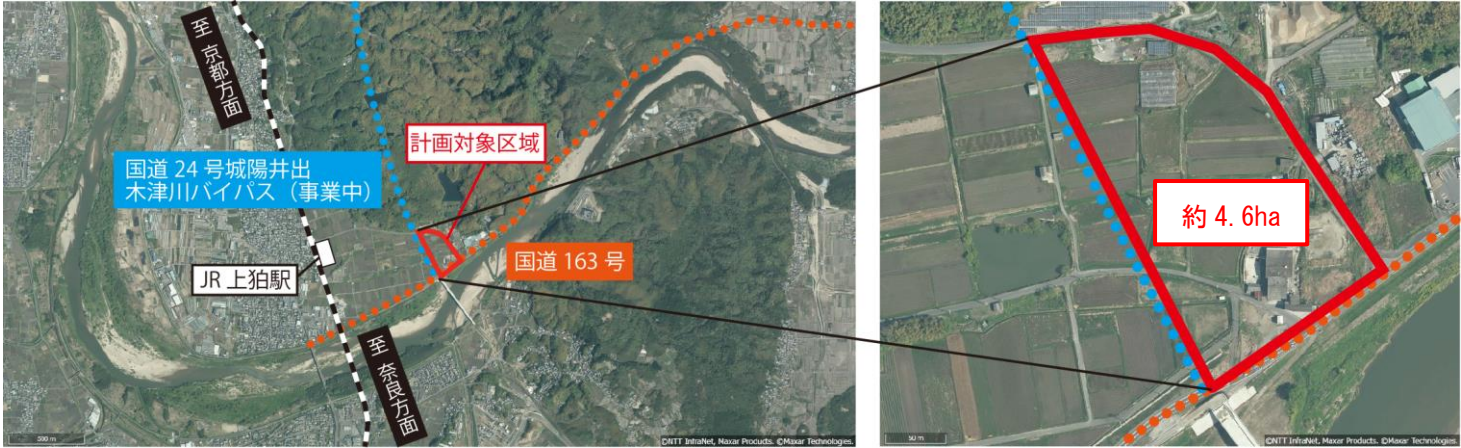
木津川市では、令和 3 年 3 月に定めた「第 2 次木津川市都市計画マスタープラン」において、国道 24 号城陽井手木津川バイパス整備の機会を活用し、国道 163 号との結節点にて、**市内外の人が利用できる多様な施設をもつ「にぎわい拠点施設」の整備**に向けた検討を行うことが位置付けられています。このような背景から、現時点では、「にぎわい拠点施設」は『道の駅』の機能を含んだ施設を想定し、「木津川市にぎわい拠点施設基本構想」を策定しました。

2. 計画対象区域の概要

計画対象区域の概要は以下のとおりです。

- ・計画対象区域は「木津川市山城町上粕」で、京都市内（JR 京都駅）から約 27km、奈良市内（JR 奈良駅）から約 8km に位置しています。
- ・現在事業実施中の国道 24 号城陽井手木津川バイパスと国道 163 号の結節点にあります。
- ・計画対象区域北側では、名古屋から神戸を結ぶ新名神高速道路が全線開通予定となっております。
- ・最寄り駅は JR 奈良線上粕駅(徒歩 15 分程)です。
- ・計画対象区域の大部分は「埋蔵文化財包蔵地」である上粕東遺跡の分布図と重なる地域となっております。

●計画対象区域



4. 木津川市の現状・課題・整備の方向性

現状		課題	整備の方向性
人口	関西文化学術研究都市の中核地としてのまちづくりが進み、良質で魅力的な住環境が形成され、令和 4 年 1 月 1 日時点の 年少人口率は京都府や全国平均より高く 、高齢化率は京都府や全国平均よりも低くなっています。	一方で、地域住民へのアンケートより、子どもと一緒に外出した際に外出先で困ったこととして、 子どもが安心して遊べる屋内／屋外遊戯施設がない 等の意見が挙げられており、 子育て・子育てのまちづくりが必要 です。	子育て世代が安心して 利用ができ、繋がりが生まれるにぎわい拠点の整備
交通	国道 24 号や国道 163 号が通り、 京都、大阪、奈良へのアクセスが良好 です。国道 24 号は慢性的に混雑しており、計画対象区域に隣接する 国道 24 号城陽井手木津川バイパスの新設工事 が進められています。	関連団体へのヒアリングやドライバー、サイクリストへのアンケートより、 トイレ等の休憩施設の整備 が挙っており、 交通の要衝である立地 を活かした道路利用者のための 休憩施設が必要 です。	利便性に優れた 交通結節点、休憩施設の整備
産業	特産品には、タケノコ、茶、柿など、地場産品には相楽木綿、京織ふすま紙などがあります。木津川市は、里地里山、木津川などの 豊かな自然に恵まれた環境の中で、多くの特産品などの地域産業 を生み出してきました。	農業経営者の高齢化 が進んでいる他、関連団体や商工会会員より解決したい課題として 地域住民の雇用創出、新規顧客層への展開や販路の拡大 が求められており、 市内の産業振興・活性化が必要 です。	木津川市のブランドを確立 させ、商品の PR、継続して販売できる施設の整備
観光	歴史的価値の高い 史跡や神社仏閣、豊かな自然、町屋からなる歴史的景観などに恵まれています 。仏教信仰の寺院や霊地の形成、特産品(お茶)を扱う商業活動などが活発化し、観光などの地域づくりに活用してきました。	道路網整備等、 観光客の来訪環境の変化 も踏まえ、関連団体へのヒアリングより、改善したい課題として 情報発信、お茶を楽しめる飲食施設整備 が挙っており、 地域の価値向上に向けた魅力発信が必要 です。	「木津川市ならではの」 を見つけることができるにぎわい拠点の整備
防災	計画対象区域の一部は 0.5～3m の浸水想定区域に含まれます。 国道 24 号城陽井手木津川バイパスは、浸水想定区域を回避する道路ネットワークとして災害時も交通機能の確保が可能 となります。	木津川の氾濫、山地からの土砂流出等の恐れ がありますが、計画対象区域はリスクが小さく、国道 24 号城陽井手木津川バイパスが 緊急輸送道路に指定 されていることから、 被害を最小限に留める施設整備が必要 です。	災害時など非常時における地域住民の安心・安全な暮らしを守る 防災拠点の整備

3. アンケート・ヒアリング調査の概要

にぎわい拠点施設に**求める導入機能・施設や利用頻度など、消費者のニーズの傾向を把握**することを目的に Web アンケート調査を実施しました。さらに、**運営者目線での意見を把握**することを目的に、木津川市内及び周辺地域の関連団体へのヒアリング調査、木津川市商工会会員への配布型アンケート調査、民間事業者への意向調査を実施しました。

●Web アンケート調査結果（対象：地域住民、サイクリスト、一般ドライバー、職業ドライバー）（抜粋）

地域住民	・「木津川市」について市内外に PR したいこと： 自然、歴史・文化財・史跡、タケノコ、お茶 ・子どもとの外出先で困ったこと（30 代、40 代）： 子どもが安心して遊べる屋内／屋外遊戯施設がない 等 ・道の駅整備で期待すること： ドライブの休憩拠点、観光の拠点
サイクリスト	・新たな休憩施設の設置について： 「魅力的だと思う」と回答した方は約 80% ・新たな宿泊施設の設置について： 「魅力的だと思う」と回答した方は約 64% ・休憩施設としてほしい主な機能： 飲食・物販関連、入浴関連
一般ドライバー 職業ドライバー	・新たな休憩施設の設置について： 「魅力的だと思う」と回答した方は約 50% ・休憩施設としてほしい主な機能： 飲食・物販関連、宿泊・休憩スペース等の休憩施設関連

●ヒアリング調査結果（対象：木津川市内及び周辺地域の関連団体）（抜粋）

改善したい課題	PR などの 情報発信 ／地域住民の 雇用創出 ／ 加工施設や宿泊施設 の整備／ お茶を楽しめる飲食施設 整備 奈良と京都の通過点としての トイレ休憩施設 の整備
---------	---

●配布型アンケート調査結果（対象：商工会会員）（抜粋）

抱えている課題	人件費、光熱水費、燃料費、材料費の高騰（59.4%） 新規顧客層への展開 （46.5%）／ 販路の拡大 （38.6%）
道の駅で実施したいこと	道の駅内の施設に商品を卸したい (52.4%) 道の駅内で実施されるイベント等で商品を販売したい (40.5%)

●民間事業者への意向調査（対象：民間事業者）

対象業種・数	建設、デベロッパー、飲食・物販、宿泊、温浴、子育て支援、銀行 / アンケート回答事業者数： 18 社
ポテンシャル	高い：4 社 （理由：国道 24 号及び国道 163 号が通る、人口増加、鉄道 3 線が木津駅で合流 等） どちらとも言えない：11 社（理由：国道 163 号は通過交通であり観光客の集客がどの程度か不明 等） わからない：3 社
参入意向	参入したい：1 社 参入の可否を検討したい：10 社 興味がある：4 社 参入しない・検討しない・興味がない：2 社 分からない：1 社

5. にぎわい拠点施設のコンセプト（案）

整備の方向性を踏まえ、にぎわい拠点施設のコンセプトを次のように設定します。

子どもも大人も心やすらぐ旅ごころ
～きづがわを感じ、心やすらぐみんなのにぎわい拠点～

木津川市は京都から奈良の通過点になっていることや、地域住民が PR したいこととして「自然」「歴史・文化財・史跡」「お茶」を挙げていることから、奈良と京都の休憩を取りながら、「木津川」の「自然」や「お茶」を活かして旅気分を味わうことができるとともに、地域住民にとっても非日常感を味わえるコンテンツを導入し、にぎわいの創出を図ります。また、子どもが遊べる施設が求められていることから、子どもと楽しむことができる施設整備を行い、**だれもが安心して利用できる施設**とします。

6. 導入機能（案）

①休憩機能

24 時間利用できる駐車場やトイレのほか、道路利用者が休憩できる機能・設備を導入します。

- 駐車場
- トイレ
- 無料休憩所
- Wi-Fi 無料サービス



屋根付き優先駐車スペース
道の駅ゆとりパークたまがわ
(出典：国土交通省 Press Release)



子どもトイレ
道の駅丹波おばあちゃんの里
(出典：丹波市 HP)

②情報発信機能

利用者の利便に供する情報が得られる設備を導入します。

- 道路情報・観光案内施設



観光案内・情報発信コーナー
道の駅雨晴
(出典：道の駅 雨晴 HP)



観光情報案内施設
(道の駅伊豆ゲートウェイ函南)
(出典：伊豆ゲートウェイ函南 HP)

③地域連携機能

地域の特産品等を取り扱う店舗や飲食スペース、その他交流スペースなど来訪者が集うことができる機能・設備を導入します。

- 農産物直売所
- お土産/特産品販売
- 飲食スペース・カフェ
- 多目的交流スペース
- 加工施設
- 公園・広場



お土産/特産品ショップ
道の駅おおゆ
(出典：道の駅おおゆ HP)

④交通結節機能

サイクリストの拠点となるサイクルステーションや、地域の交通拠点となる機能・設備の導入を検討します。

- サイクルステーション
- バス停



バス停
道の駅センザキッチン
(出典：道の駅 センザキッチン HP)



サイクルステーション
道の駅むつざわ つどいの郷
(出典：道の駅むつざわ つどいの郷 HP)

⑤子ども応援機能

子育て世代が気軽に利用できる機能・設備を導入します。

- ベビーコーナー
- 屋内遊戯施設
- 屋外遊戯施設



授乳スペース
道の駅大谷海岸
(出典：道の駅 大谷海岸 HP)



屋内遊戯施設
道の駅西条のん太の酒蔵
(出典：道の駅西条のん太の酒蔵 HP)

⑥防災拠点機能

非常時の緊急避難場所として活用できる設備を導入します。

- 自家発電設備
- 備蓄倉庫
- 貯水タンク
- 防災スペース
- 防災トイレ



災害用仮設トイレ
道の駅すさみ
(出典：国土交通省近畿地方整備局 Press Release)



防災倉庫
道の駅ゆふいん
(出典：道の駅 ゆふいん HP)

⑦にぎわい向上機能

「道の駅」施設に加え、にぎわいを創出する機能・施設の導入を検討します。(※民間事業者からの意見によって内容や施設を決定するため、内容が変更となる可能性があります。)

- 宿泊施設
- 入浴関連施設



道の駅併設ホテル
道の駅味夢の里
(出典：フェアフィールド・バイ・マリオット HP)



足湯
道の駅たるみず湯つり館
(出典：鹿児島県観光サイト
かごしまの旅 HP)

⑧その他機能

- 調整池
- その他 Web アンケートにて需要が高かった機能
(ガソリンスタンド、ATM 等)



調整池
柏の葉アクアテラス
(出典：柏市役所 HP)

7. 施設イメージ（ゾーニング図）

施設のイメージ（ゾーニング図）は以下のとおり検討しています。

導入する施設を「道の駅ゾーン」、「にぎわい向上ゾーン」、「交流・防災ゾーン」「調整池ゾーン」の 4 つに分類し、以下の方針に従って配置します。

道の駅ゾーン：防災道の駅としての登録要件を満たす機能及び駐車場等を配置（休憩機能、地域連携機能、交通結節機能、情報発信機能、子ども応援機能）

- ・道の駅機能は 24 時間利用できる必要があるため、道路から入りやすい整備予定地の南側に配置する
- ・道の駅の地域振興施設とにぎわい向上ゾーンの施設との連携が図りやすい配置とする
- ・国道 24 号及び国道 163 号から道の駅施設の視認性に考慮して配置する

にぎわい向上ゾーン：民間事業者の積極的な参画を促進し、道の駅ゾーンと一体的なにぎわいを創出するためのにぎわい向上機能を配置

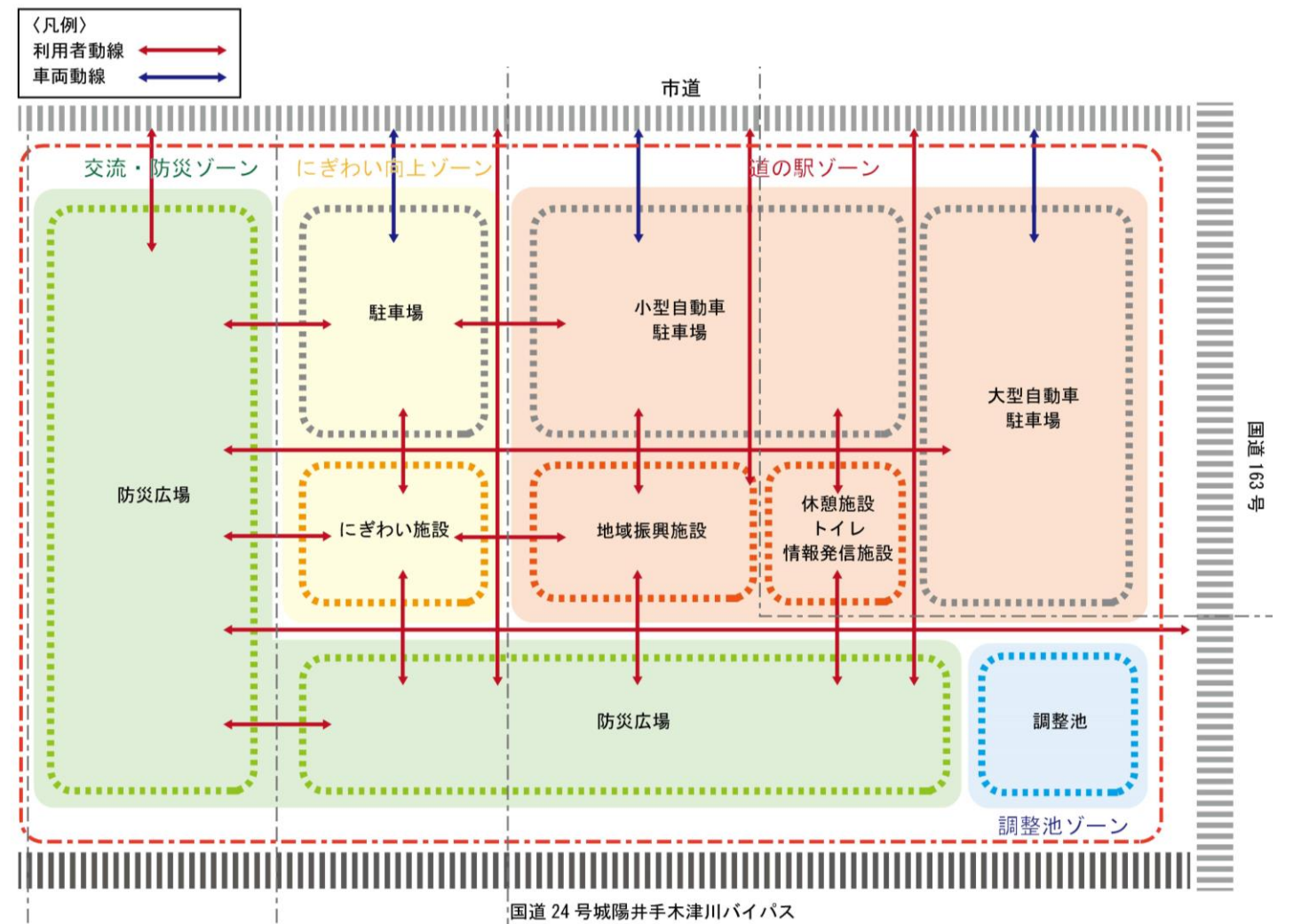
- ・道の駅ゾーンの駐車場とにぎわい向上ゾーンの駐車場を一体的に利用することができる配置とする
- ・平常時には防災広場を用いたイベント等の開催が可能な配置とする

交流・防災ゾーン：屋外の機能として、防災拠点機能、公園・広場、屋外遊戯施設を配置

- ・地盤面の高さを活かし、見晴らしの良い位置に配置する
- ・まとまった規模の防災広場を確保する

調整池ゾーン：調整池を配置

- ・流末を考慮して、計画対象区域の現況地盤高の最も低い位置に配置する



木津川市にぎわい拠点施設 イメージ図



※イメージ図であり、実際の計画や完成図ではありません